

6.2.施設調査

① 波浪調査

調査結果概要 粗朶の減少量増加とともに、粗朶消波工の波高伝達率は年々大きくなり、消波機能の低下がみられる。

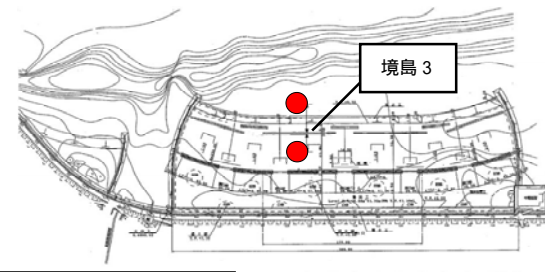
調査内容

波浪観測：境島地区、根田地区（西浦）、爪木地区（北浦）
 H18.3月～H19.2月（11ヶ月間）消波工の前後で1時間単位で波高、周期、水位を観測

調査結果

- ・ H17年11月～H18年10月の期間内の最大有義波高は、境島地区で51.0cm、根田地区で48.4cmであった。
- ・ 粗朶減少量は年々増加しているが、境島ではH18年はH17年とあまり変わらず、根田では約40cmさらに減少している。
- ・ 各地区の波高伝達率は、H16年とH18年を比較すると、境島地区では、0.27から0.48に、根田地区では、0.36から0.71に上昇している。
- ・ 爪木地区では群杭工が早期に流失し、消波効果はほとんど無かった。

境島地区

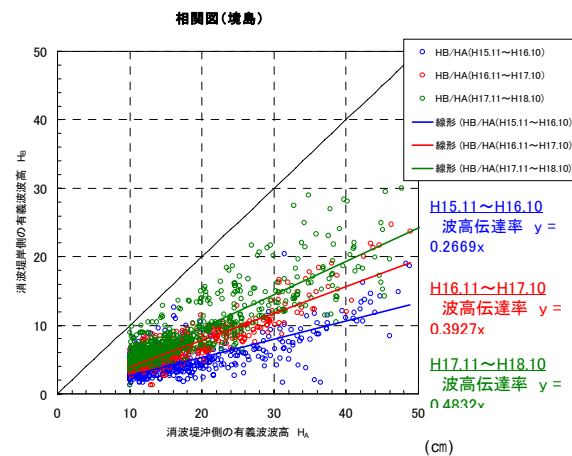


凡例
 ● : 波高計設置地点

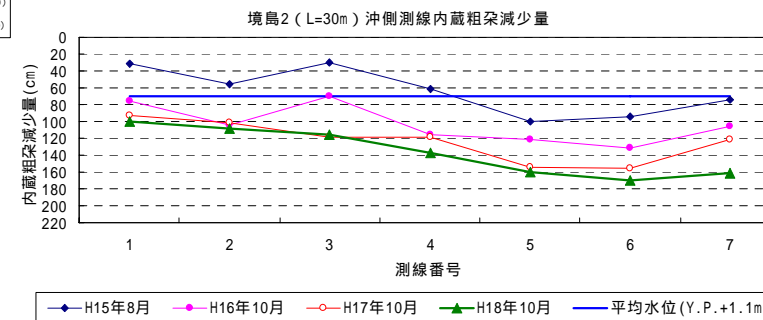
今年度観測期間中の最大波高の上位5位（境島）

ランク	日時	St.A				St.B				有義波高伝達率	湖心データ		
		最大波高 (cm)	周期 (sec)	有義波高 (cm)	有義波周期 (sec)	最大波高 (cm)	周期 (sec)	有義波高 (cm)	有義波周期 (sec)		St.B/St.A	平均風速 (m/s)	風向
1	H18/10/8 14:00	65.7	3.4	51.0	3.6	38.8	3.4	34.7	3.7	0.68	—	—	—
2	H18/10/8 13:00	61.8	3.6	47.7	3.4	38.2	3.5	30.0	3.6	0.63	—	—	—
3	H18/3/17 11:00	60.5	3.2	46.1	3.6	25.1	3.8	19.6	3.3	0.43	15.1	WNW	1.1
4	H18/10/8 12:00	68.0	3.4	45.5	3.4	38.8	3.5	29.5	3.6	0.65	—	—	—
5	H18/3/29 14:00	59.5	3.7	45.1	3.9	29.4	3.6	23.9	3.9	0.53	15.5	WNW	1.1

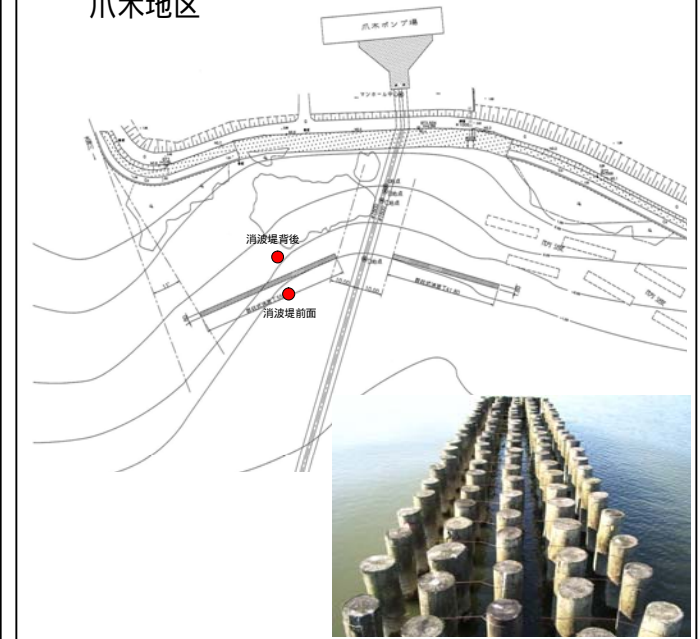
対象期間：H18.3.1～H18.10.26 — : データ未回収のため不明



消波工岸側・沖側の有義波高相関図（境島）

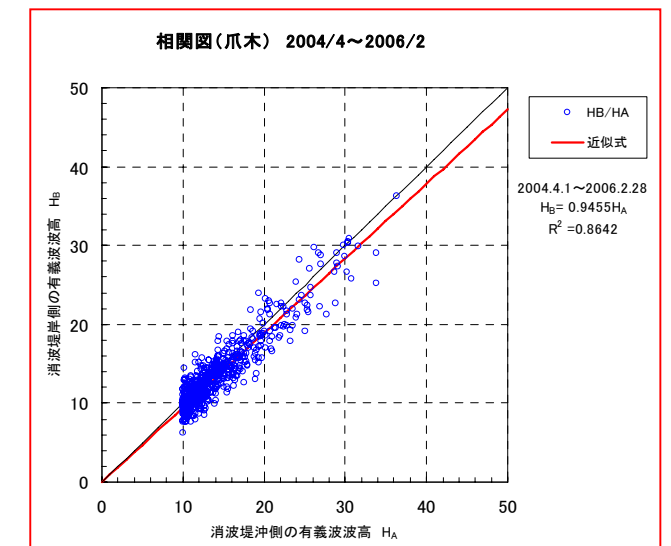


爪木地区



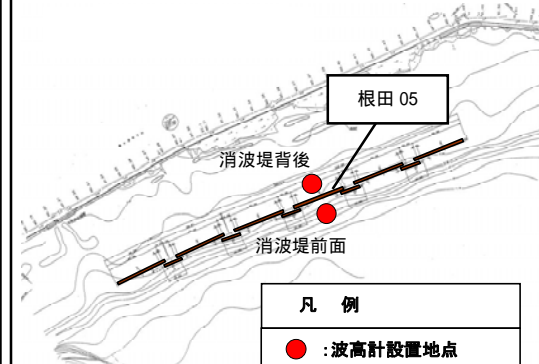
平成17年9月、爪木地区群杭工 測線

全期間



消波工岸側・沖側の有義波高相関図（爪木）

根田地区

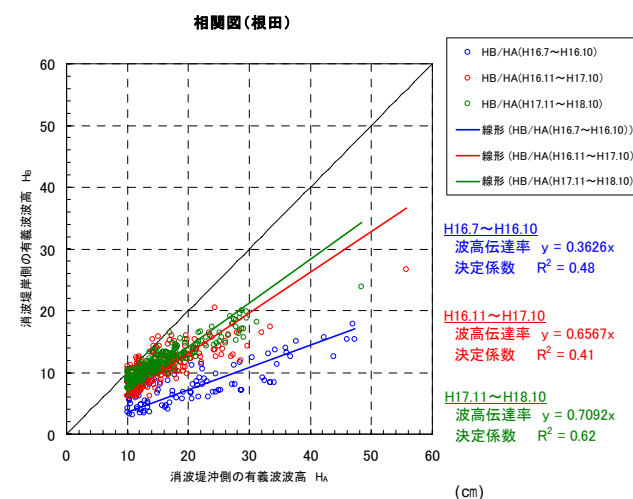


凡例
 ● : 波高計設置地点

今年度観測期間中の最大波高の上位5位（根田）

ランク	日時	St.A				St.B				有義波高伝達率	湖心データ		
		最大波高 (cm)	周期 (sec)	有義波高 (cm)	有義波周期 (sec)	最大波高 (cm)	周期 (sec)	有義波高 (cm)	有義波周期 (sec)		St.B/St.A	平均風速 (m/s)	風向
1	H18/3/17 03:00	55.7	3.2	48.4	3.2	29.2	3.1	23.8	3.2	0.49	16.0	SSW	1.15
2	H18/3/29 10:00	40.6	3.4	29.6	3.1	25.5	3.2	18.8	3.2	0.64	13.2	W	1.14
3	H18/3/17 09:00	40.0	3.1	29.5	3.2	27.9	3.4	19.8	3.3	0.67	16.6	WNW	1.14
4	H18/3/29 11:00	36.4	3.2	29.0	3.2	20.2	3.3	15.7	3.2	0.54	15.0	W	1.14
5	H18/4/3 09:00	34.8	2.7	29.0	3.0	24.4	3.1	17.0	3.1	0.59	15.6	W	1.19

対象期間：H18.3.1～H18.10.27



消波工岸側・沖側の有義波高相関図（根田）

